



上尾ロータリークラブ

2013-14年度R.I.テーマ

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を



関口 和夫会長

第2510回 例会

2013.10.3

週報 No.1974

発行 2013年10月10日

会長 関口 和夫
幹事 齋藤 哲雄
副会長 齋藤 博重
副幹事 久保田 勲
編集責任者
クラブ広報委員長 野瀬 将正

ビジターゲスト
国際ロータリー第2770地区
職業奉仕委員会
副委員長 伊藤 悟様
委員 寺澤銀三様

10月17日 ビデオ上映
10月24日 親睦旅行に振替
10月31日 卓話 川口RC
岡村睦美様
(時間変更)

会長あいさつ

皆さん、こんにちは。会長挨拶をさせていただきます。
今月は、職業奉仕月間です。本日は、国際ロータリー第2770地区職業奉仕委員会より副委員長伊藤悟様、寺澤銀三様ようこそお出で頂きありがとうございます。

「働き蟻の法則」について、考えてみたいと思います。先日、TBSラジオの朝の番組「森本毅郎スタンバイ」で取り上げられていました。以前から「働き蟻の法則」の話はありました。2:6:2の法則として、良く働く蟻:普通の蟻:働かない蟻がこの割合でいると言う話です。また、パレートの法則80:20と言う、全体の数値の大部分は、全体を構成するうちの一部の要素が生み出していると言っています。働いている蟻の内2割が大変良く働く蟻で、6割が普通の働きの蟻で、2割は働いていないふりをしている蟻です。良く働く蟻を抜き出して、新しい蟻の組織を作ると、なぜかまた働かない蟻ができる。良く働く蟻だけの集団を何度作っても、時間が経つと自然に2:6:2の比率で蟻は仕事の分担をするとのこと。北海道大学大学院長谷川英祐准教授によれば蟻と言うのは集団を作っていくと、野外に出ている蟻はいつも餌を集めている働きものと言うイメージが強いですが、コロニーのメンバーに直接貢献する様な仕事をしない蟻が2~3割いてその固体はずっと働かない。働かない働き蟻がいる。この蟻は裏切り者ではなくてそういった固体がいることも実は必要だと言うことが分かったそうです。働かない蟻が全くいないで全員が働いてしまうといつか疲れてしまいます。みんなが疲れてしまうと、コロニーはダメになってしまう。そういう時に、普段働いていない蟻が代わりに働くことができる。社会が長く続く為には、そういった固体がいることが必要だと考えられる。働かない蟻だけを集めたコロニーを作ってみると、2~3割を残して働く様になることを突き止めたそうです。働かない蟻は、ただ怠けているわけではなく、集団を維持するために生まれた必要な役割だと言うことです。

ところが、琉球大学農学部の辻和希教授によると「本当に働かない蟻」が見つかったそうです。三重県の紀北町でアミメアリと言う蟻がいて、全く働かない遺伝子もっている裏切り者の蟻がいることが証明されたそうです。特徴として、産卵はよくするがほったらかしにする



AGEO ROTARY CLUB

し、餌をとり外にも出ないそうです。巣の掃除もしないで、何もしないで巣が減ってしまうこともあります。そうなると他の巣に勝手に入って住んでしまい、また何もなくなる。アミメアリの5%が新型蟻になってしまい、新型蟻の分まで働く蟻が過労死してしまうそうです。最終的には、そのコロニーは衰退していくこととなります。この固体がなぜ生まれたのかは、これからの研究で明らかにされていくことでしょうか。番組の中でもまとめに、人間は社会の中でなぜ助け合うのか。個人の利益を極端に優先する固体が増えすぎた結果、社会そのものが崩壊してしまい全員が損をすると言う「公共財のジレンマ」が、蟻の社会にも存在して人間の問題だけではなくてあることが分かります。考えさせられる、内容でした。ロータリーの目的の理念を、広めたいと思いました。

以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。本日も、よろしくお願いします。

幹事報告

齋藤哲雄幹事

皆さんこんにちは。報告の前に御礼を申し上げます。9月の最終例会、北本ロータリークラブさんとの合同例会で、上尾駅自由通路でのポリオ撲滅募金運動、皆様のご協力をいただきありがとうございます。募金金額12,365円が集まりました。本当にありがとうございます。

- ◆今月のロータリーレートは100円です。
- ◆ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」2013-14年版を配布しました。お日通しのほどお願い申し上げます。
- ◆第2例会 10月10日は、米山記念奨学学友委員会から米山記念奨学生 張 苑 (チョウ エン) さんが卓話にお越しになります。
- ◆第3例会10月17日は「全優石 津波記憶石について」ビデオ上映会。
- ◆10月31日例会、川口RC、岡村睦美様の卓話です。31日の夜間例会では、卓話が始まってからではなく、

お越しになられた順にお食事をお召し上がりになっていただきます。卓話までには食事が終了している形をお願い申し上げます。

- ◆クラブ行事では11月28日に渡邊ガバナーの公式訪問がございます。クラブ協議会を例会終了後行いますので委員長の皆様、よろしくをお願いいたします。
- ◆地区行事ですが10月19日~20日、日韓親善会議は大塚バスターガバナーご夫妻がご参加になられます。
- ◆10月18日、第5グループ会長・幹事会がございます。
- ◆10月14日(祝)、RLI part1セミナーがございます。
- ◆11月15日(金)、大宮ラフォーレ清水園で入会3年未満・新会員の集いが開催されます。
- ◆自衛隊の協力会の会費を次回の例会から集金させていただきます。以上です。

卓話

地区 職業奉仕委員会 副委員長 伊藤 悟様

皆様こんにちは。大宮シティRCから地区職業奉仕委員会に出向しております伊藤と申します。大宮シティRCは上尾RCと親しくさせていただいておりまして、甲子園への切符を譲っていただいて、今年は10-9のスコアで勝ちました。昨年出場の際は負けて三振してきましたが、ロータリーに所属していなければ甲子園のグラウンドに立てなかったの、いい経験をさせていただきました。また大宮シティRCでは、ラオス大使館で交流会を開き、上尾RCの皆様も大勢参加していただけるようで楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

さて本年度の地区職業奉仕委員会では管理部門委員長のもとに、わかりやすい職業奉仕を目指してこうと活動しています。職業奉仕はわかりにくいと言われますが、ロータリー本部アメリカの英文を翻訳しているので、理解にズレがあつてわかりづらいのかなと思います。例えば本年度RI会長、ロンド、バートン氏のテーマ“Engage Rotary, Change Lives”を『ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を』と訳していますが、単純に言えば「人生を変



AGEO ROTARY CLUB

えよう、生き方を変えよう」となります。翻訳者は日頃のRI会長の考えを汲んで訳しているのだそうですが、訳し方は時に親切が仇になってしまうこともあるのかなと思います。ロータリーの資料は基本的に翻訳ものだと認識しておいた方がいいと常々思っています。

今回、「ロータリーの目的」の資料をお持ちしました。綱領から目的になりましたが、原文はまったく変わっておらず、日本語訳が変わったわけでは、正式に見直しがたい進められ、敢えて使っていた難しい表現を理解しやすい表現にしました。毎月唱和されているので内容はだいたいおわかりでしょうが、「目的」になった文章の構造を見ておきたいと思えます。ロータリーの綱領は文章が2つでした。句読点の「。」で区切られているのが1つの文でして、ここには「。」が2つなんです。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」で1つで、以降も1つの文章なのです。ここに「:(コロン)」と「;(セミコロン)」という原文に使われている記号を日本語にそのまま和洋折衷のような感じで入れてあります。「具体的には、次の各項を奨励することにある」の後にあるのが「:」なので、以下は説明文にあたります。第1~第4は「;」で区切られており、4つの文章が同じ価値で並んでいる、という意味なんです。

職業奉仕の難しさは翻訳によるものが多いのですが、ロータリーの他の奉仕活動と比べて、対象がはっきりせず、活動内容が明確でなく、評価や感謝されづらいです。職業奉仕とは日々の職業の中で実践するので、対象はお客さんや取引先の会社や従業員など身近なところで日常的に行っているもので、特にプロジェクトという形で取り組むわけでもないで、なかなか結果があらわれません。高い倫理水準で、みんなに公平に実践しても、すぐに評価されるわけではありません。そこでよくわからない奉仕活動になってしまいがちです。しかし自覚しながら職業を進めることでいずれ良い評価が得られ、会社が発展していくということが結果として出てくるのだと思えます。

それぞれの職業の中で高い倫理性をもつのは非常に難しいものです。私は建築設計業ですが、だいぶ昔、姉齒というひどい設計者がいて、倫理以前の話でニュースになりましたが、その結果、建築士は3年に1回、講習と試験を受けなければ資格を更新できないようになってしまいました。99%の建築設計士は一生懸命仕事をしているのですが、信頼を取り戻せるよう肝に銘じて仕事をしていくことだなと思います。

ロータリーの職業奉仕とは、他の世界的な奉仕団体と比べ、自らの職業に於いて倫理性を求めるといえるのは、まさにロータリーだけであると思えます。ロータリアンであるための意識をもっていることが重要だとも思っています。

ロータリークラブは1905年、ポール・ハリスらが誕生させたのですが、そのときは親睦と事業上利益を目的に集まったのです。しかしそれは基本的な原点ではなく、集まったきっかけであって、利益を求めだけの集まりでは長続きできません。シェルドンの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の発言が示すように、単純に利益を求めるといふ考えを乗り越えたわけですね。そこで初めてロータリーがロータリーでありえたというわけです。ですから、会員拡大のため誘い文句に「ロータリーに入会すれば商売がうまくいくよ」というのは基本的にはよくないですね。ロータリーに入会すると実利的な利益ではなく、四つのテストやロータリーの目的など商売に取り組む姿勢が身につく、例会で経営者同士でアイデアの交換ができ、またセミナーの中で様々な事例を聞ける、といった機会から自分の商売に振り返り考えることができるようになって商売が良くなっていくわけです。つまりロータリーに入ると仕事が増えるのではなく、会社を良くしていく方法がわかる、というのが職業奉仕なのです。

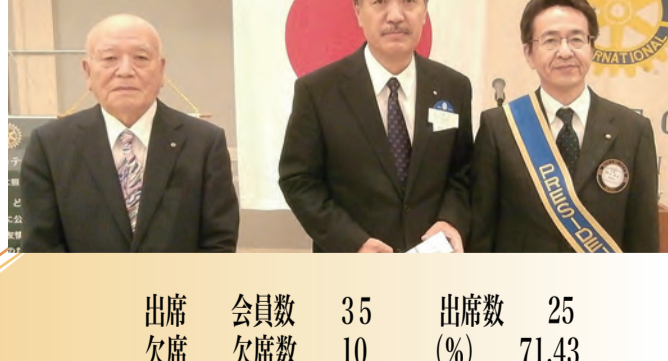
四つのテストが大きな基本ですが、本日は「ロータリーの行動規範」という資料をお配りしました。倫理的な考えをまとめたものとして、1915年に職業倫理訓が作られました。これが1989年に改訂されて「ロータリーの職業宣言」に変化して2011年9月に「ロータリーの行動規範」になりました。我々

ロータリアンが何かするときに守るべき8つの項目を掲げています。ロータリーが発展してきたのは、時代にあわせてこのような文献が変化してきているからだと思えます。

このような規範によって会社を正しく運営していれば会社は発展していくかといえば必ずしもそうではありません。時代にあわない仕事をしていけば取り残されてしまいます。倫理観とは違った経営者としての才覚も磨かなければいけない、それもやはり例会などロータリアンならばこそ身につくのかなと思えます。「働く」とはどういうことかと原点に戻ると、欧米的にはできた働かない方がいいというような罪・罰としての労働がありますが、日本の場合は生きること=働くことのような価値観があります。日本人は労働に対する意識が高いのではないかなと思います。ロータリーが言っている倫理観をいちばん持っているのは日本人ではないかなと思うんです。例えば近江商人の経営哲学に「売り手よし、買い手よし、世間よし」とあるように「世間よし」まで考えて商売をしているわけです。自社だけが儲かればいいんだ、という考えではなく、まさに職業倫理観が日本人にあるのです。埼玉の誇りである渋沢栄一翁も「片手に論語、片手に算盤」とあるように、倫理観を持って商売をしようという考え方が基本的に根付いているのだと思えます。そのような倫理観で経営していると会社の永続性に繋がります。欧米やアジアの他国に比べ、日本には100年以上続いている会社が15,000件、200年以上続いている会社は3,000件、中には1,000年続いている会社もあります。これは日本という国も持っている良い歴史、日本人が持っている職業意識の表れだと思うわけです。我々ロータリアンが職業倫理観・職業奉仕の理念をもって仕事を実践すれば、会社の発展になり、世の中にとっても良いことに結びつくのだと思えます。職業奉仕という考え方を大事にして経営していくと、みんな良くなるということだと思えます。本日は職業奉仕に関する卓話をさせていただきます機会をいただきまして、ありがとうございます。

地区 職業奉仕委員会 委員 寺澤銀三様

皆様こんにちは。少しだけ職業奉仕について自分にあてはめて話してみたいと思えます。「四つのテスト」にある「真実かどうか」を皆様から私に聞かれたと仮定します。私は飲食業ですが、正直に誠実にお客様に大事にして、儲けようという気持ちではなく、奉仕金として対価をいただくようにしています。「好意と友情を深めるか」では、ロータリーではみんなの手を組んで難題にぶつかって、職業的な問題などに向かっていくものだと思います。「みんなのためになるかどうか」と聞かれたら、儲けた金を懐に入れ遊ぶのではなく、利益で社会に奉仕しております、と答えます。以上簡単ではありますがありがとうございます。



出席	会員数	35	出席数	25
欠席	欠席数	10	(%)	71.43
前回確定			欠席数	1
修正(%)	97.14		(M・U)	10

スマイル 30,000円

伊藤悟職業奉仕副委員長 寺澤銀三職業奉仕委員 関口会長 齋藤博重副会長 齋藤哲雄幹事 久保田勲副幹事 武重会員 岡野会員 大塚信郎会員 吉川会員 小林会員 富永会員 齋藤重美会員 井上会員 村岡会員 萩原会員 尾花会員 大木会員 細野会員 名取会員 大塚崇行会員 藤村会員 樋口会員 野瀬会員 宇多村会員 古賀会員 長沼会員 齋藤修弘会員

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 東武バケットホール4F(ポリス) TEL/FAX 048-775-7788

